

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★3/13 木『第3回 SAH 講演会』にて

共愛学園前橋国際大学 学長

大森 昭生（おおもり あきお）先生

をお招きします！★

『大学ランキング 2025 (AERA 朝日新聞出版発行)』が2024年4月19日に発行され、共愛学園前橋国際大学 大森 昭生 学長が『注目する学長』で『3年連続 1位』にランクインされました！※全国 780校の学長宛アンケートのうち回答のあった 564校の学長の意見をまとめたもの

*掲載している画像・情報等は共愛学園前橋国際大学より転載



●注目する学長 : 3年連続 1位!

●教育面で注目 : 4位!

●総合的に注目 : 10位!

●外国人教員の比率(学生数 1000人以上 3000人未満) : 6位!

全国の大学の学長が『注目する学長』として、大森学長が『3年連続 1位』に選ばれました。群馬という地方の大学がランキングに入るということはすごいことです！1度でもすごいことです！『3年連続 1位』なのです！どのような取組をされているのかになります。でも、そう考えると『前南』の『SAH』の取組も、どこまでたどりつけるのか、夢があり、大いに楽しみです！

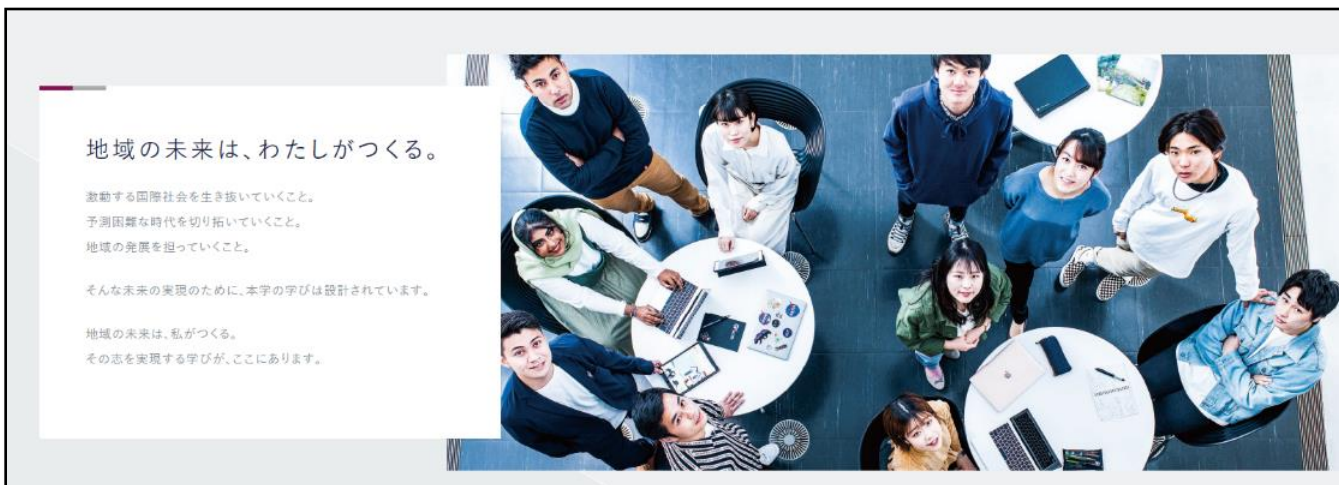
大森学長は、2016年より学長となり、学長としては『9年目』です。よって『7年目』からずっと『全国 1位』なのです。すなわち『6年間の学長としての取組が全国の学長に周知され、評価され 1位になった』と推測できます。

また、文部科学省や内閣官房など政府の各種委員のほか、中央教育審議会では大学分科会、同高等教育の在り方に関する特別部会(副部会長)、教育振興基本計画部会をはじめ各種委員を歴任。なかでも、『SAH事業』の根幹である『群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)』の策定に深く寄与されています。長きにわたり『群馬の教育』に貢献されているわけです。

そんな大森学長に『SAH講演会』の講師を、思い切って依頼してみたところ、なんと快諾していただいたのです！しかも、『前南のSAHの取組』をモニターしていただいたようで『生徒によるアイスクリーム自販機の導入』などをご存じでした！感激です！

演題：『予測困難な時代に”生きる” Agency ～私が私を幸せに生きるための学び～ (仮)』

先日、本校の原校長と前橋国際大学を訪問し、正式に依頼し、確定しました！上にあげたものが当日の『演題』です！楽しみです！今回は3月実施ということで『1, 2年生対象』となります！3年生につきましては『前橋国際大学』を受験する人もいないのではないのでしょうか？群馬という『地方』にありながら『なにを目指し、どんな取組をされているか』『どんな資質・能力を学生たちに身につけさせたいか』などのお話が聞ければ幸いです！前橋国際大学のHPを訪れてみては？(文責：教頭 星野 亨)



前橋国際大学情報はコチラ

<https://www.kyoai.ac.jp/>



★校長より★ 先日、教頭先生と一緒に前橋国際大の大森学長を訪問しました。本文にもあるとおり、皆さんのSAHの活動に注目していただいています。このときに「実装できているのが良い」というお言葉をいただきました。(社会)実装とは研究で得られた成果を問題解決のために実際に応用、展開することを言います。皆さんが色々な企画を実現化していることを評価していただきました。

現在、1年生が課題解決型の探究活動に取り組んでいます。これは自ら課題を設定し、情報の収集、整理・分析、まとめ・発表等の過程を通して課題解決を考える活動です。SAHの活動も探究活動と考えることができます。探究活動は解決方法の提言で終わることが多いのですが、SAHは実装まで行っていますので高いレベルの探究活動とすることができます。今後も、皆さんから出された企画で良いものは、検討し、皆さんの力で実現する方向を進めていきたいと考えています。校長室で待っています。校長 原 拓史